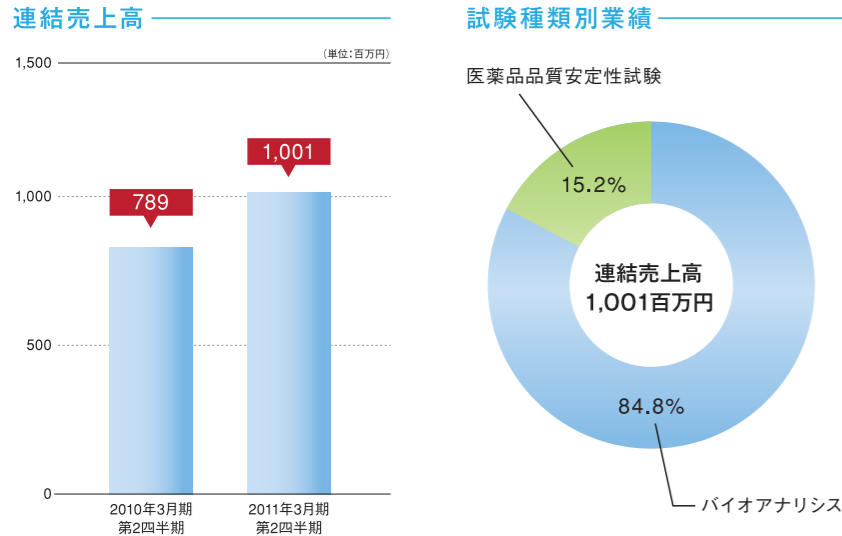


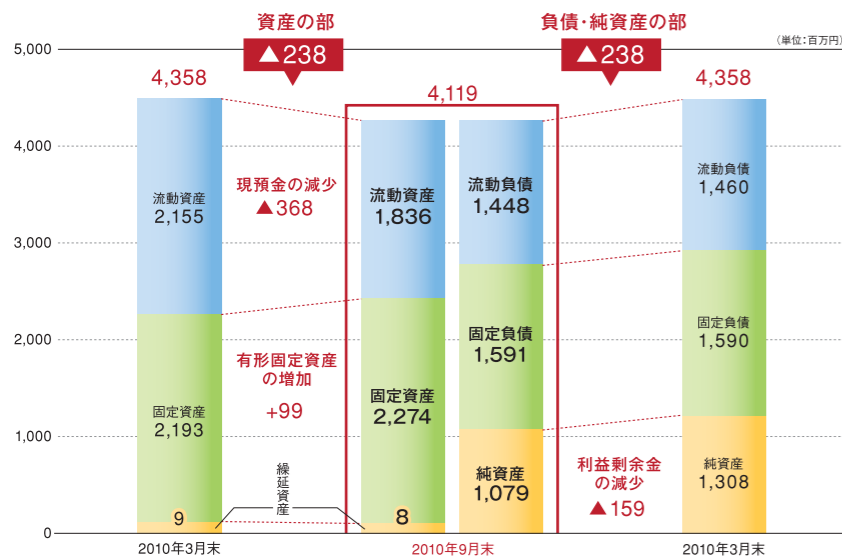
連結損益計算書



項目	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期
営業利益	-116 百万円	110 百万円
経常利益	-135 百万円	-93 百万円
四半期純利益	-97 百万円	-143 百万円

試験の前倒し終了、早期終了試験の受注を主な要因とし、連結売上高は1,001百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

連結貸借対照表



米国ラボへの先行投資を計画通り実施し、現預金が減少、有形固定資産が増加しました。

詳しくはホームページをご覧ください URL <http://www.jclbio.com/>

会社・株式データ <2010年9月30日現在>

会社概要

社名 株式会社JCLバイオアッセイ
 JCL Bioassay Corporation
 設立 2005年4月
 資本金 2億5,635万円
 従業員数 167名(連結)
 本社 大阪府豊中市
 新千里東町1丁目4番2号
 千里ライフサイエンスセンタービル
 試験施設 西脇ラボ(兵庫県西脇市)
 大阪ラボ(大阪府吹田市)
 連結子会社 JCL Bioassay USA, Inc.
 (米国イリノイ州)

役員

代表取締役社長 初山 邦男
 常務取締役 井上 則子
 取締役 村井 久美
 取締役 久保 明
 取締役 田中 雅樹
 常勤監査役 馬屋原 宏
 監査役 東 重彦
 監査役 村木 慎吾

株式の状況

発行可能株式総数 8,440,000株
 発行済株式の総数 3,306,000株
 株主数 2,114名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
JCLバイオアッセイ従業員持株会	253	7.66
株式会社日本医学臨床検査研究所	250	7.56
金子 常雄	210	6.35
初山 邦男	202	6.11
高橋 昭雄	168	5.09
高山 正法	117	3.56
有限会社常商事	115	3.48
齋藤 誠次	48	1.45
川村 恵子	43	1.30
田辺 輪吉	41	1.26

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 公告方法 電子公告 <http://www.jclbio.com/>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都区港芝3丁目33番1号
 (特別口座管理機関) 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 大阪府豊中市北浜2丁目2番21号
 中央三井信託銀行株式会社
 大阪支店証券代行部
 電話照会先 フリーダイヤル:0120-78-2031

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

JCL Report 証券コード: 2190 <http://www.jclbio.com/>

JCL Report

Japan Contract Laboratories

飛躍のとき。

分析CROとして
 世界の頂点を目指す
 米国ラボプロジェクト
 いよいよ営業活動開始!
 医薬品の開発
 分析技術で大きく貢献

経営ビジョン

分析CROとして 世界の頂点を 目指す

日本で 積み上げた実績 そして世界へ

当社の経営ビジョン「分析CROとして世界の頂点を目指す」は、日本で培った技術力・ノウハウによる高品質な分析データを顧客の目線に立ったサービスで、世界の製薬会社に提供することです。その第一歩として、米国イリノイ州シカゴ郊外にJCL Bioassay USA, Inc. (米国ラボ) を設立しました。日本と同様、顧客の利益となる高品質なサービスを目指します。

米国ラボ、 いよいよ営業活動開始!!

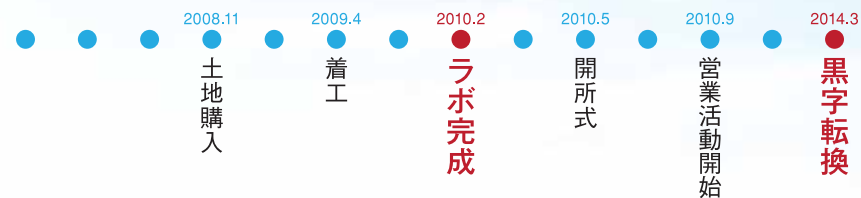
米国市場の可能性

米国の市場規模は日本の約10倍といわれているのに加えて、アウトソーシングの流れが加速しています。この世界最大の市場において、当社グループの高度な分析技術を存分に発揮し、GLPに適合した研究施設から高品質な分析データを提供したいと考えています。

成長戦略 世界のトップ企業へ

当面は、米国に進出している日系製薬会社を主な顧客とし、安定した受注の獲得を目指します。将来的には、米国の製薬会社をターゲットに大規模な試験の受注を獲得し、米国での経験・ノウハウなどを蓄積したうえで、分析CROとして世界のトップ企業を目指します。

米国ラボプロジェクト 完成までの歩みと、これからのビジョン



さらなる飛躍に向けた取り組み

営業活動を開始した米国ラボでは、2014年3月期の黒字転換、そして早期のフル稼働を目指しています。

技術力強化

日本から派遣した熟練研究員による技術指導

日本の技術力・ノウハウを伝承するため、日本から熟練研究員を派遣し、技術指導を行っています。また、FDAの基準に合わせた高品質な分析データを提供できるよう、万全の体制を構築しています。

業務の効率化

最新システムの導入

大量の試験を迅速に処理し、顧客の要望に柔軟に対応するため、最新システムの導入を順次検討していきます。

例えば...

自動前処理ロボットの導入

多くの試料をロボットが処理することで、大幅な省力化を実現させ、試験操作の安定性・正確性を向上させます。

JCL Bioassay USA, Inc.
設計から内装・設備に至るまで随所に創意工夫を凝らした敷地面積20,436㎡、建物面積2,059㎡に及ぶ大型研究所です。
所在地/米国 イリノイ州
2860 Forbs Avenue, Hoffman Estates, IL 60192, USA



代表取締役社長
籾山 邦男
Kunio Momiyama



分析技術で医薬品の開発に、大きく貢献しています。

JCLバイオアッセイは
医薬品開発に欠かせない重要な試験を
製薬会社から受託している、分析CROです。

進むアウトソーシング化

製薬会社における新しい医薬品開発では、
経費削減やスピード化が求められ、CROへアウトソーシングする傾向が
さらに顕著になっています。

● ● ● 新しい医薬品ができるまで

製薬会社

基礎研究
医薬品になりそうな
物質を探す

製剤化研究
医薬品の
処方・製造方法を
決める

非臨床試験
動物に投与して
有効性・安全性を
調べる

臨床試験
ヒトに投与して
有効性・安全性を
調べる

申請・承認
監督官庁に
データを提出

販売

市販後調査
販売後の
有効性・安全性を
調べる

バイオアナリシス

医薬品品質安定性試験

医薬品の成分含量や
形状の変化を調べる試験

●品質試験

品質規格の設定
に必要な試験

医薬品に含まれる有効成分や
不純物の含量を測定します。

●保存安定性試験

有効期限などの決定
に必要な試験

温度、湿度、光など様々な環境
条件下で品質の安定性を調べ
ます。

動物やヒトから
採取された血液・尿中の
薬物濃度を測定する試験

医薬品開発過程で有効性や安全
性を調べるため、動物やヒトに医
薬候補品を投与し、採取された血
液や尿などに含まれる極めて微
量の薬物濃度を測定します。

日本のトップレベル

JCL Bioassay の品質を支えるもの

高品質な分析データを提供する独自の技術は、製薬会社
から高い評価を得ています。

研究員の絶え間ぬ努力から生まれる 独自の技術

定例勉強会、学会への参加、大学との研究協力などを通
して、人材の育成に積極的に取り組んでいます。その結
果、超高度分析など当社独自の技術を蓄積し、その実力
は高く評価されています。

最先端の分析装置

試験実施にあたり、最新の分析装置LC-MS/MSを順次
更新し、常に最新の設備を導入しています。さらに、無停
電電源装置・非常用発電機を完備し、停電時でも大切な
データを守るバックアップ体制を整えています。

「業界最高レベル」の研究所

兵庫県西脇市と大阪府吹田市の研究所では、業界最高レ
ベルの精度で分析業務を行っています。両研究所ともGLP
に適合している施設として最も高い評価である「評価A」を
継続して受けています。



用語解説

- CRO(医薬品開発受託研究機関)
医薬品開発の過程に必要な業務を
受託する企業のこと。
- GLP(Good Laboratory Practice)
医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施基準。
- FDA(Food and Drug Administration)
アメリカ保健福祉省の組織の一つで、
米国食品医薬品局のこと。
- 標準操作手順書
試験実施の際、遵守しなければならない
手順を規定したもの。